



新潟県立柏崎常盤高等学校
2学年だより 第32号
平成27年7月24日発行

後悔のない夏休みを過ごそう！！

明日から夏休みです。高校生活の折り返し地点が近づいてきました。高校生活後半にさしかかる夏休み明けからは、いよいよ受験へのカウントダウンが始まります。受験に向けて好スタートを切れるように、気持ちを引き締めて夏休みを有意義に過ごしましょう。

I 受験に向けた学習をスタートしよう

1学期始めの頃の学年だよりでは、みなさんの家庭学習時間の低下を指摘しました。1学期を終えてみてどうでしたか？

1学期を総括してみると、全体の様子として、厳しいようですが1学期は家庭学習時間が少ないまま過ごしてしまった人が多いのではないかと、担任としては感じています。

1学期期末試験を終えた際、生徒の考査後の感想からは、

- ・週末前の試験勉強に集中していたので週明けの試験の勉強に手が回らなかった…
 - ・(数学や英語などの)考査後の提出課題に追われ、他の科目の試験勉強に手が回らなかった…
- と、いう反省の弁があったようです。(きっと、同じ思いをした人がいるのでは?)

しかし、課題については、どの科目もかなり前から提示され、普段からきちんと学習をしていれば、他の科目の勉強ができない、という事態は起こらなかったのではないのでしょうか。

さて、この反省を生かすとするならば、まず、夏休みの過ごし方についてもう一度考えてみましょう。まず、夏休み課題はこなして当たり前です！！進路の実現に向けて、それ以上を目指しましょう。

II 夏休みの学習計画を立てよう

夏休みを有意義に過ごすためには、事前の学習計画を立てておくことが大切です。計画を考えるときは、以下のポイントに注意しましょう。

1. 「夏休みを4つに分けて」計画を立てる

夏休みは長いので、時間の使い方が分からず、持てあましてしまう人もいます。そこで、4つに分けて考えてみましょう。

- ①7月下旬 ②8月上旬 ③8月中旬 ④8月下旬

どの時期に何を取り組むかを考えることで、学習計画が立てやすくなります。

2. 無理のない学習計画を立てる。

夏休みを4つの期間に分けたとき、それぞれの期間に何をするかを考えましょう。その際、無理のない計画を立てるようにしましょう。週に一回、「予備日」を設定するなど、予定通り進まなかった場合に、遅れを取り戻す時間を用意しましょう。実現可能な目標をこつこつとこなすことで、自然と自信もつてきます。

3. 苦手科目の復習に取り組む。英語から逃げない。

時間がある夏休みは、苦手分野を克服するチャンスです。苦手だと感じている教科をここでしっかりと復習しておけば、受験科目もスムーズにスタートできます。

また、受験においてはほぼ英語は必須です。語学は、毎日続けて行くと自然と身についていき、逆に触れていない期間が長いと、すぐに忘れてしまいます。少ない時間からでいいので、毎日触れる努力をしましょう。

4. 毎日の学習記録をつける。

何時間学習したか、計画的に学習できたかを毎日振り返り、記録するようにしましょう。記録を残すことで達成感も増え、また軌道修正も行うことができます。

※ その他(連絡など)

■**進学補習** 7/27(月)～31日(金) ※数学は28日(火)休講
無断で休まないこと。また、受け身ではなく、攻めの姿勢で！！

■**不振者補習** ※詳細は教室に掲示または担当者から指示 ただし数学は28日(火)休講
すべての予定よりも優先します。科目担当者の指示を大切にしましょう。

■**スタディーサポート** 8/25(火)
詳細日程は配付済のプリントを参考にすること。
欠席の場合は、通常授業と同じ方法で学校に連絡すること。
(後日、時間を確保し、学校で実施します。)

※スタディーチャージの提出日です(〇付けをする)。忘れないように！！

■**始業式・課題テスト** 8/27(木)

- | | | |
|----|---|--------------|
| 1限 | } | 大清掃、始業式、LHR |
| 2限 | | |
| 3限 | | 課題テスト(物・生基礎) |
| 4限 | | 課題テスト(数ⅡB) |
| 5限 | | 課題テスト(C英語Ⅱ) |
| 6限 | | 課題テスト(現・古典) |